

(資料4)

## ごあいさつ

### 「ヤマムラアニメーション博物館」の展示について

原始時代に描かれた洞窟壁画には、馬や牛、鹿の群れなどの躍動感溢れる動きが捉えられているものがあります。それらはおもに線画で、足が多重に重ねて描かれていることなどから、アニメーションのルーツとみることもできます。壁画からは、まるで「動きをイメージとして定着していく喜び」と、松明のゆらめく光によって「動きがイメージとして再生される驚き」に満ちあふれて、原始人たちの“幸福感”が伝わってくるようです。

洞窟壁画からはじまる「ヤマムラアニメーション博物館」には、アニメーションが生み出されていく喜びと驚きが満ちあふれます。ここには山村浩二の“想像力”で再現したアニメーションの歴史、アニメーション作家としての歩みを示す数々の作品の原画や動画、人形、アートワークなどの展示があります。そして絵を動かして見るコーナーでは、いろいろな工夫によって作られたさまざまな装置で、動く映像を楽しむことができます。

さあ、展示を楽しみ、動く絵を楽しんで、“好奇心”と、あなた自身の“想像力”で、ヤマムラアニメーションの面白さを発見して下さい。

### 「ヤマムラアニメーション博物館」のアドバイザーについて

愛・地球博が真に国際的なイベントとして成功するために、より興味深く、意義深い展示ができるよう、微力ながら貢献していきたいと考えています。

愛・地球博では、出身地である愛知の地で、多くの刺激と国際的・文化的交流が生まれることを期待しています。

ヤマムラアニメーション博物館  
Yamamura Animation Museum  
アドバイザー  
アニメーション作家